

新冠町における農業の担い手確保 ～地域担い手の確保と定着に向けて～

◆活動年次：令和2年度

(課題番号 3)

◆対象：新冠町 新規参入者 6戸（酪農3戸、園芸3戸）

1 課題の背景

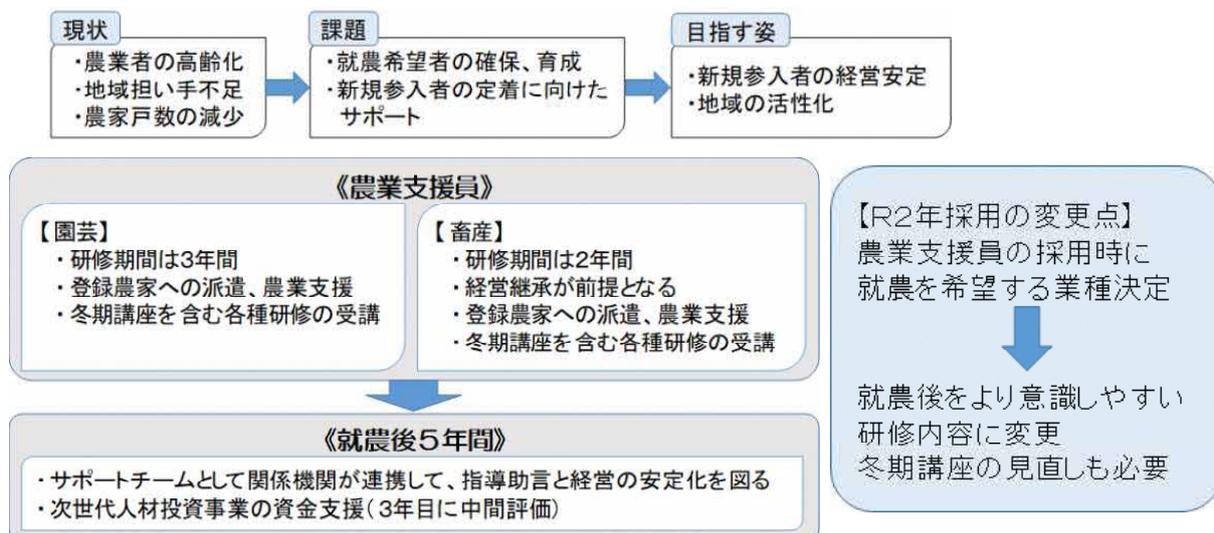


図1 農業支援員から新規就農までの流れ

2 活動の経過

【新たな取り組み】

- 従来の個別巡回指導に加え、関係機関による合同巡回を実施
- 所得解析ツールを活用した経営分析に向け、道総研との意見交換
- 農業支援員を対象とした冬期講座カリキュラム見直し

表1 支援経過

実施時期	内容	対象者
R2.6月	関係機関合同巡回	新規参入者6戸 農業支援員2名
R2.12月	関係機関合同巡回	新規参入者6戸
随時	個別巡回指導	新規参入者6戸 農業支援員2名
R2.11月 ～R3.2月	新規就農者冬期講座 (一部新ひだか町合同開催)	農業支援員3組5名



写真1 冬期講座カリキュラムの見直しを協議

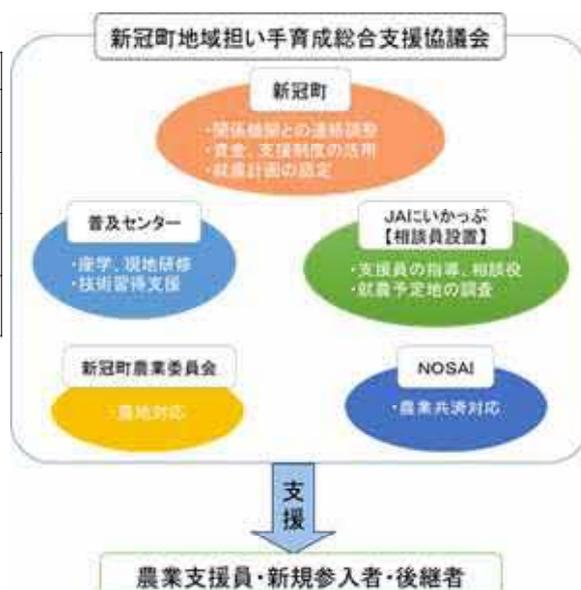


図2 新規参入者等のサポート体制

3 活動の成果

目標所得達成農業者： 5戸
(酪農2戸、園芸3戸)

- 個別巡回による技術指導
 - 新冠町・J A・普及センターで、年2回の合同巡回実施(写真2)
- ↓
- 新規参入者の抱える課題、各機関への要望などの共有化!



写真2 サポートチームでの合同巡回

- 「青色申告決算書を活用した地域の農業所得の解析手法」(H25年)の活用を検討

↓

道総研中央農試農業システムグループと意見交換
ツール内の品目や経費など、新冠町新規参入者等向けに見直し



- 新冠町・J A・普及センターで、冬期講座カリキュラムの見直し
- 農業支援員(R2採用:園芸2戸、酪農1戸)向けに冬期講座を実施(表2)

↓

関係機関それぞれが分担して講義を担当
就農に向けて考慮すべき点などの知識習得につながった



表2 冬期講座カリキュラム

時期	内容	担当機関	新ひだか町合同開催
R2.11月	ピーマンほ場根張り調査	普及センター	
R2.11月	農業概論・関係機関の役割 営農計画書と青色申告	新冠町 JAにいかっぶ	
R2.11月	ピーマン基礎講座	普及センター	
R2.11月	道内農業 農作業安全	普及センター 農業者	○
R2.11月	土壌肥料	普及センター	○
R2.12月	農業関係 災害	ホクレン 普及センター	○
R2.12月	クリーン農業	普及センター	○
R3.2月	畜産基礎講座	普及センター	

4 今後の課題

- ・新規参入者の生産技術安定化支援
- ・就農後の経営管理能力向上に向けた指導
- ・担い手協議会における就農後サポート体制強化

